

委員会要旨

日 時	令和6年10月2日(水) 午後2時から午後4時15分まで
場 所	軽井沢町役場 第3・4会議室
件 名	第11回軽井沢町庁舎改築周辺整備事業推進委員会
出席者 委 員	委員：池田靖史委員、小林美智子委員、堀内勉委員、佐藤公貴委員、上田公三委員、船曳鴻紅委員、饗場晴雄委員、大工原亮子委員、佐藤一郎委員、柴崎雅寿委員、野村有里委員、小林里恵委員、小林久史委員、外川樹美代委員、山崎元委員、大町哲也委員、小林広幸委員、福原未来委員 設計者：山下・三浦JV 3名 町：小池副町長 事務局：新庁舎周辺整備課 土赤課長、篠澤室長、佐藤 ：生涯学習課 森補佐、新海館長 欠席：堀池玲子委員、島崎直也委員、本城慎之介委員、田村恵美委員、佐藤絵理委員、篠原幸雄委員
1. 開 会	
2. 議 題	
(1) 基本方針の策定についての報告	・議会への報告も終わり、無事8月に策定・公表となった旨を報告 ・引き続き基本計画の策定に協力を依頼
(2) 基本計画策定に向けて	ア 基本計画の概要 ・基本計画の概要について説明 イ 委員会での論点 ・基本計画において議論すべき論点を整理して提示 「環境」「窓口」「整備手法」「空間づくり・交通・アクセス」「事業費」「事業手法（PPP等）」 【主な議論】 ・元々この見直しが始まったのは事業費の問題であったため、しっかりと検討してもらいたい。 ・財務状況の説明もしっかりとしてもらいたい。 ⇒説明できる材料が整った時点でお示ししたい。 ウ 今後のスケジュール ・各検討会等や委員会のスケジュールを共有 【主な議論】 ・無作為抽出意見交換会は事前学習が重要なので資料を共有してもらったうえで意見を付記させてもらいたい。 ⇒内容が固まった上で、委員にも協力をお願いしたい。 ・全体的な委員会のスケジュールを早めに決めていただきたい。 ・整備方法（ABC案）の比較検討の議論については委員会としては次回の委員会で決着する。
(3) 各検討状況について	ア 各区への意見聴取状況 イ 稼働率調査の状況 ウ 公民館機能拡充施設の規模 エ 役場への進入の導線の検討状況 オ 人口一人当たりの起債額と税収

- ・町側で現在の検討状況を報告した後に質疑応答

【主な議論】

- ・公民館の稼働率が低い諸室については統合していくという考え方はあるか。
⇒共有化できるように検討を進めていきたい。
- ・公民館の機能を分館に分散していくことは考えられないか。
⇒管理運営を区に委託している関係で簡単にはいかないと考えている。特に分館運営の一部には区費が充てられているため、簡単に誰でも使えるという建付けは難しい。
- ・防災面からも分館に一極集中というのは避けた方が良い
- ・稼働率データを出していただいて、既存の各施設を有効に使っていくということはとても良いと思うが、一方で公民館が単に貸館施設だけではないことも念頭においてほしい。
- ・進入路を検討しているが、信号の設置を要望しているのはあくまで町道鶴溜線のほうで良いか。
⇒お見込みのとおり。また、庁舎・公民館への進入路についてもまだまだ検討段階である。また、住民としての体験談なども重要となってくるので意見を寄せて欲しい。
- ・財務上の数値を提示いただいたが、引き続き議論は必要だと思う。
- ・

(4) 整備方法（ABC案）の検討について

ア リフォーム／リノベーションの違い

イ 整備方法（ABC案）検討会について

- ・ABC案を比較するに当たってまずはリフォーム・リノベーション・コンバージョンについて資料を使用しながら説明した後に、検討会に必要なについて説明

【主な議論】

- ・冬場の対策についてもしっかりと考えて欲しい。
⇒軽井沢町独自の「軽井沢町の自然保護対策要綱」という決まりがあり、勾配屋根にする必要があることなどの諸条件は伝えた方が良い。
- ・リフォーム程度のことで今考えている機能が満たせるのか、それとも少し頑張ってリノベーションの域に入っていないか、なかなか要望されているような中央公民館のレベルに達しないと考えているのか。
⇒現代のニーズ等に合わせていくとするとリノベーションと言われる域になると考える。
- ・コストもちろん大事だが、環境面から考えていくことが軽井沢らしさとも言えるのではないか。

(5) その他

- ・この委員会で検討すべき議題を明確にし、それを議論できる資料を次回以降用意すること。
- ・次回の委員会は11月13日予定

3. 閉会

以上